

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



尾張津島天王祭宵祭、棧敷招待感想

7月28日（土）に、国の重要無形民族文化財である尾張津島天王祭宵祭が行われました。津島市内の企業および、津島ガイドボランティアの皆様のご厚意により、愛知県に避難されている方へ棧敷席での観覧招待があり、27名がご参加されました。参加者の方より感想が届きましたのでご紹介します。（ご本人の了解を得て掲載しています）

支援センターの皆様、こんにちは。

先日の津島天王祭では、大変お世話になりました。

直前に色々変更してしまったにも関わらず、親切に対応していただきまして、ありがとうございました。おかげさまで、4人揃って、棧敷席で座って見ることができました。

私たちが震災前まで住んでいた南相馬市でも、ちょうどこの時期、相馬野馬追い祭があります。その名の通り、馬が出るお祭りなのですが、あの地震と津波で数多くの馬が流され、また原発事故後の立ち入り制限によって置き去りになったりして、震災前と比べて、馬の数は大幅に減ってしまいました。（福島県は県民一人当たりの馬の所持率が、日本一だったそうです）

それでも、震災後も規模を小さくして続けていて、お祭りは地域を結ぶ大事な行事なんだなと、津島天王祭のガイドボランティアの熱心なお話を聞きながら感じました。

華やかで楽しいお祭りにご招待いただき、本当にありがとうございました。

この機会をくださいました津島市内企業、ご案内してくださいました津島ガイドボランティアの皆様、そして支援センターのスタッフの皆様に、心よりお礼申し上げます。

(I. H.)



はじめに、私たちを尾張津島天王祭の宵祭りに招待していただきました津島市内関係者の皆様、津島ガイドボランティア、愛知県被災者支援センターの皆様のお心遣いにとただただ感謝いたしております。

津島ガイドボランティア大橋会長が、提灯に灯を入れようとしている船溜まりに私たちを案内してくれ、祭りの主催者「車屋」を中心に津島天王祭の歴史や祭りの観点について詳しく教えていただきました。

川面を吹き抜ける松籟に、かつては天王川が流れ、佐屋川・木曾川と合流して伊勢湾に注いでいた当時の津島湊の情景や繁栄の様子が目に浮かぶようでした。

宵祭りのクライマックスは500個の提灯の明かりをともした巻き藁船5隻の勢揃いでした。思い描いていた以上に巻き藁船の提灯の白く品のある華やかさ、それが水面を優雅に進む様に感動いたしました。また、昔の人たちと同じように津島の人たちがおいしそうなおちそうと飲み物と共に、年1回のお祭りを心から楽しんでいる様子も印象的でした。

尾張津島天王祭が車屋はじめ氏子、時の為政者、民衆が一体となって気の遠くなるような500年、連綿と今日まで受け継がれてきたことを思うと感慨もひとしおです。

写真だけではなく実際に見ることができ、参加して本当に良かったと思いました。

おわりに、せっかくのお祭りの夜にご案内やていねいなご説明を賜りましたこと、まことにありがとうございました。

(黒津忠勝・晃子)

今年の夏、愛知県内で福島子ども達を対象に保養キャンプを開催した団体が10グループあります。福島では低線量被曝による健康被害が心配されている中、縁も所縁もない愛知県の人々が福島子ども達やその家族を愛知に招待し、様々なストレスから解放させるチャンスを作り出しました。

今回は、岡崎で幼稚園児のママ達が主催した「おいでんプロジェクト」と豊橋の「東北応援団・東三河」を中心に地元の協力で行なわれた「おいでん！福島っ子！2012 夏」についての報告です。

福島のみんな！あそびにおいでんプロジェクト in 愛知 2012 SUMMER によせて

2012年8月8日から13日まで、5泊6日のプロジェクトが無事終了しました。福島市、郡山市、川俣町、米沢市（一時避難先）から10組30名の方が参加されました。皆さん無事全日程に参加され、元気に福島・米沢に帰られました。

私達は以前から「おたがいサマーマ」というお野菜を送る繋がりを通して、福島のママ達と色々なお話をしてきました。お友達として話を聴き、何か力になれる事はないか、私にできる事はないかをずっと考えていました。ママとの話の中で一番良く聴いたのが「外で思いっきり遊ばせてあげたい」という言葉でした。「そっか！だったら遊びにおいでよ！」こうしてこのプロジェクトは立ち上がりました。実行委員会を設立し、企画書を提出したのが6月頭。準備期間が2ヶ月程でしたが、沢山の方にご協力をいただき、資金・人員面でも無理なく行うことができました。繋がって下さった皆様には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。

このプロジェクトを行うにあたり、さまざまなご意見をいただきました。肯定的なご意見だけでなく、「あなた達は線量の高い福島に残ることを肯定するのか」「きちんと人も除染してから受け入れてね」という衝撃的なご意見をいただいたこともあります。愛知に住む人の、福島の方に対する考え方が本当にさまざまであることを知りました。ぜひ福島の方のお話を直接



聴いてほしいと強く思い、ボランティアで参加して下さる方を広く募集しました。また、参加される福島のご家族ごとに担当の愛知のママを「コンシェルジュ」として繋ぎました。プロジェクト後に、個人的に新しい繋がりができ、福島まで遊びに行かれた方もいらっしゃいます。また、福島の幼稚園と愛知の幼稚園との交流も始まっています。

それだけでなく、一時避難されている方と福島に住んでいる方が夜、一緒にお話をされました。お互いの話を聴きながら涙し、話している輪がとても強く、あたたかなものを感じました。

こうやって繋がりが増えていくこと、福島の方の生の声が広がっていくこと、本当に大切なことだと私達は思っています。

今回のプロジェクトでの反省点は沢山ありますが、次回（春か夏）に向けてこれから計画を練ってまいります。外からみて意見することは簡単です。福島に残る決断をされた方、一時避難を決断された方、両方の気持ちにできるだけ寄り添いながら、これからもこのプロジェクトを永く続けていきたいと思っています。

（金子 優子）



「おいでん! 福島っ子! 2012 夏」を終えて

先日 7 月 31 日～ 8 月 9 日までの 10 日間。福島県の子ども達約 20 人が夏休みの期間を利用して、新城・旧門谷小学校にやってきました。「おいでん! 福島っ子! 2012 夏」は新城の大自然の中、子ども達を少しでも放射能から遠ざけて、元気に遊んでもらいたいという思いで企画されました。受け入れを企画した「東北応援団・東三河」を中心に地元新城の方々や、母親の方々など多くの方々の協力を得て実行する事が出来ました。

今回来てくれたのは、郡山市を中心に 4 歳の子どもから 11 歳の小学 6 年生までと幅広い年代の子ども達とお母さんが来てくださいました。

プログラムは、新城で活動を行っている NPO のの方々や、地元の方々の協力を得て、川遊びや登山、森の探検、木工教室、星の観察会、流しそうめん、BBQ、キャンプファイヤーなど盛りだくさんで、子ども達もなかなか福島ではできない体験を、おおいに楽しんでいました。

食事に関しては、新城の方々に食材の提供から調理までご協力いただき、10 日間の食事を支えてくださいました。メニューは子ども達に少しでも元気になって欲しいという思いから、野菜を中心として民間療法も取り入れながら作っていただきました。

また子ども達を呼ぶ費用の大部分は、1,000 人の方から 1,000 円の寄付を募るという「1,000 の気持ちプロジェクト」で、多くの方々からの温かい寄付でまかないました。

子ども達の様子は、受け入れる側が緊張したのとは裏腹に、福島から愛知へ来るバスの中でも、子ども達はすぐに打ち解けて仲良くなり、元気いっぱいの様子でした。一日中バスに揺られ到着した初日も、荷物を置くとすぐに目の前の校庭で



サッカーをしたり、フリスビーをしたりして遊んでいました。また期間途中には子ども達の中でけんかが始まったり、うまくいかないこともあったりしましたが、子ども達が自分達で話し合いを持って解決しようとしていく姿を見て、子どもの力強さを感じました。

最後バスに乗り福島へ帰るときは、寂しいのか涙が止まらない子もいました。別れを惜しむ子ども達の姿が印象的でした。

終了後子ども達とお母さん方へ、今回の感想を伺いました。子ども達からは「福島っ子はいっしょうのおもいでになりました」「らいねんもまたあれば行きたいです」。お母さん方からは「人との出会いがこんなにも素晴らしいと感じられた事、仲良くなった皆との別れは悲しかった事、大切なことを学ばせていただきました」「外で思いっきり遊べた事が本当に楽しかったらしく、特に川で遊んだことを興奮して教えてくれました」など嬉しい感想をいただきました。

参加してくれた福島の方々、ご協力いただいた沢山の皆様へ心から感謝をお伝えしたいです。この「ご縁」と「思い」を大事にし、これからも子ども達が少しでも元気に笑顔でいてくれることを願っています。

(東北応援団・東三河 山口 清之)



8月26日の弁護団の「原発事故相談会 in あつた」に参加しての感想

今回初めて愛知県弁護団の原発事故損害賠償の相談会に、参加させていただきました。

原発事故に伴い警戒区域となっている富岡町から、主人の実家がある名古屋に家族5人で避難し一年半が過ぎました。元をただせば避難の身とはいえ富岡町への移住者でした。元の生活場所に帰ってきただけだろうと思われるのではないかという負い目と、周囲からの被災者という視線も乗り越えていけるようになりたいです。

避難したその日からこれまで、多くの方々の善意や援助に支えられながら生活しています。改めて心より御礼申しあげます。相談会は初めてで、何を聞けば良いか解らない事ばかりでした。担当弁護士と愛知県へ避難してきた経緯をお話しながら、準備した資料などを広げ、何か

ら始めると良いか気付く事ができました。

一方で何故、賠償が進まないか？に興味がありました。今回の原発事故発生段階で原賠法という昭和37年に施行の既にある法律を適用し、その権利者と義務者が決まる、というものです。ここを少し知ると闘志が湧いてきました。東京電力は被害者に賠償しなければならないはず！福島県という地域限定にとどまらず、放射性物質は広く拡散し、私達の人生にあらゆる損害を生じさせています。

日本最大の法律問題に巻き込まれたようなもの…もう横の繋がりのお話だけでは駄目で、専門家の知恵を借りることの必要性を感じています。

(天白区在住 S.Y.)

東三河芋観察・流しそうめん交流会 感想

8月26日。お天気は快晴!!

6月に植えたさつまいも畑の様子?

さつまいも畑は一面つるで埋まっていた。さつまいものつるも伸びていましたが、草も負けずにしっかりと生えていました。草を抜いていると汗がポタポタ…

時にはバッタやカエルが飛び出したりと、微笑ましい光景も…

さつまいもが大きく育つようにと、つる返しもしました。みんな汗だくになりながら、頑張りました。

最後にそーっと端っこに植えたつるの下を掘ってみると、すごい!! 大きな(?) さつまいもが出てきました。来月の収穫が楽しみです。

次にコープあいち デイサービス新川に移動して、流しそうめん、スイカ割り等をしました。



畑で取ったさつまいものつるも食べました。とても美味しかったです。

当日は3世帯5名(大人3名・子ども2名)と少ない人数でしたが、支援者と被災者の距離が一層縮まりました。高校生のお兄さんと兄妹と間違われるほど…

次回はいよいよ収穫!! より多くの輪が広がり繋がっていったらと思っています。

(根本 美佳)



東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや

「お茶っこサロンなごや」始めました！

8月29日(水)に第1回「お茶っこサロン」なごやを開催しました。「お茶(ちゃ)っこ」とは、東北の言葉で「お茶をする」という意味。交流会という大々的なものではなく、お茶を飲みながら自由に集まっておしゃべりする場として、みなさんに参加を呼びかけさせていただきました。

集まってくださったのは、9世帯22名(大人12名、子ども10名)。今回は、初回であり、夏休み中でもあるため、子ども向けのものを中心に、お楽しみをいくつか用意させていただきました。綿菓子、水ふうせん遊び、バルーンアート、絵本の読み聞かせ、タオルで犬をつくる手芸…。日頃センターのスタッフとして活動しているボランティアを中心に、企画を考え、準備し、手づくり感溢れる場となりました。

参加者のみなさんは、自由におしゃべりしたり、お茶をしたり、遊んだり。子どもたちも、



弾けるほど元気な笑顔で、水ふうせんをたくさん取って誇らしげに見せてくれたり、綿菓子を何度もおかわりして頬張ったり、目をキラキラさせながら絵本の世界に浸ったり…と、色々楽しんでくれた様子でした。

中には、「最近このような交流できる場がなくて寂しかった」という方や「友達と参加できてよかった」という方などいらっしゃいました。参加者のみなさんからいただいたアンケートでも、次回も都合がつく限り参加したいとお答えくださった方が多く、スタッフ一同、とても嬉しく思っています。

今年4月に東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや主催で行った「お花見交流会」に続き、今回は、みなさんが集まれる場、出会いの場となるような機会をつくりたいと思い、お茶っこサロンを企画しました。

お茶っこサロンは、9月以降も、名古屋市内様々な場所で月に1回開催予定です。9月は29日(土)に「防災フェスタ in なごや(テレビ塔周辺)」というイベントの中で、10月は28日(日)午前には栄のナディアパークにて開催予定です。気楽にお茶を飲みながらふらっと遊びに来てくださいのも大歓迎ですし、参加して下さるみなさんで何か面白い企画をご提案くださってもOKです。参加費は無料。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

(東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや スタッフ)

愛知県被災者支援センターからお知らせ

- ドキュメンタリー映画「あなたへ」(DVD)をお貸しできます。福島県双葉町から愛知県安城市に避難されてきたご家族を見つめます。慣れない土地での生活、人との出会い、ようやく実施された一時帰宅。困難な状況の中でもなお懸命に生き抜く「家族」の姿を密着した作品です。名古屋学芸大学メディア造形学部卒業制作(約50分)

◆問合せ：愛知県被災者支援センター(電話052-954-6722)

東日本大震災復興応援企画「育もう！子どもたちの元気な笑顔を」を終えて

東日本大震災からちょうど 1 年 5 か月目となった 8 月 11 日（土）、名古屋大学豊田講堂にて、復興応援企画を実施しました。この企画では、宮城県七ヶ浜町の子どもたちによるミュージカルの上演と、愛知県に県外避難している子どもたちの作文の朗読、愛知県内の子どもたちの有志による歌の合唱を行いました。

七ヶ浜町のミュージカル団体「NaNa5931（ナナゴーキューサンイチ）」のメンバーが「全国から七ヶ浜町に駆け付けたボランティアに感謝の気持ちを伝えたい」という想いで厳しい練習を経て臨んだ今回の企画は、初めての県外公演となりました。震災の実話を元にしたストーリーで、演目となっている「ゴーへ」という言葉のとおり「前へ進んでいこう、乗り越えていくのだという力強さ」と「本当にありがとう」という感謝の気持ちであふれていました。

1,000 名近くの来場者で埋まった観客席にいた多くの人の目にも涙が浮かんでいました。

福島県から愛知県に避難している子ども達 5 名の作文の朗読は、子どもたちの率直な「福島の友達に会えなくて寂しい」「愛知県で友達ができほっとした・嬉しい」「再び家族と一緒に暮らせて嬉しい」「生きるとは何なのかという問いかけ」「福島の人のために原発問題に向き合っていきたい」などの想いを、精一杯に伝えてもらいました。

最後に、60 名近くの愛知県内の子ども達による返礼と歓迎の気持ちを込めた合唱でしたが、



NaNa5931 のメンバー、県外避難している子どもたちも一緒に舞台にあがり、一生懸命に歌う愛知の子ども達に伝えるように、打ち合わせなしで、その場で振付を合わせて全員が歌い始めました。歌を通じて舞台の上に一体感が生まれ、最後の「今日の日はさようなら」を会場にいた来場者全員で歌った時には、会場全体があたたかい雰囲気になりました。

愛知県にいる私たちにできることはわずかかもしれませんが、それでも東日本大震災を忘れないという気持ちを多くの方が今後も持ち続けていくこと、被災された方お一人お一人が一步一步復興への道のりを進めていくことを願いながら、この企画を進めてきました。上演を観た後は、東海地域に住む私達が子ども達に多くの感動と勇気をもらいました。次の世代のために、今後も災害に強いまちづくりを目指して活動をしていきたいと強く願っています。

（特定非営利活動法人
レスキューストックヤード スタッフ）



あいち国際女性映画祭 参加

1996年から始まった「あいち国際女性映画祭」は、名古屋市東区ウィル愛知で、9月1日から9日まで開催されました。この催しは、男女共同参画社会の実現に向かって女性を取り巻く諸問題や生き方など様々なテーマの作品を上映し、皆様の心に直接訴えかけると共に、ゲストトークなどを通じて社会のあり方について考えてもらう事を主旨に開催しています。

今年は女性映画監督作品を中心とした32本の映画上映と、ハリーポッターの翻訳者の戸田奈津子さんの講演会はじめ、各種トークイベントなどの内容で構成されていました。

今年は新たに東日本大震災復興支援企画として、1階「交流サロン」にて東北物産展示販売

会の一角に、愛知県被災者センターの活動紹介を併設させていただきました。期間中4,361人が交流サロンに足を運んでくれました。愛知県被災者支援センターの活動紹介では、避難者の推移、市町村別避難者数、交流会、原発事故説明会、被災者のアンケート結果の一部等を展示しました。開催期間・時間が長いため、支援センターの大勢のボランティアの協力を得て説明にあたりました。

大震災から1年半が経過し、うすれていく震災の歯止めのひとつとして、今後県内のイベントにて積極的に活動を紹介していこうと思っています。

(愛知県被災者支援センター スタッフ)



囲碁クラブ (仮称) 参加者 募集中!!

日程：10月20日(土)13:00 開所式 (今後月1回開催予定)

会場：日本棋院中部総本部内練習場等

住所：名古屋市東区撞木町 1-19

TEL：052-951-5588

参加費：無料

申し込み：愛知県被災者支援センターまでお申し込みください。

E-mail：mousikomi@aichi-shien.net

FAX：052-954-6993

TEL：052-954-6722

(参加者代表者氏名、現住所、電話番号、出身地、参加人数(大人、子ども)、

参加者の名前と年齢)

●申し込み期限：10月17日(水)

交通：交通に不便な方は、ご家族や友人で同伴頂くか、同伴が無理な方は申し込みの時にご相談ください。出来る限り考慮します。

最近、若者の出会いの場として「囲碁カフェ」が人気。囲碁をたしなむ「囲碁ガール」も増えているとのこと。

ゲームとしてのおもしろさと、コミュニケーションの魅力も見直されているようです。あなたもいかがですか？

あおぞらインタビュー・コーナー開設に向けて

愛知県に避難してきた私たち、3.11 を経て色々な意味で大きく意識が変わった方々、多くの人が大震災をきっかけに、自らの生き方を問い直す岐路に立っていると思います。私もそのひとり。色々な方のお話を伺ってみたい。深く問い直してみたい。そう常々思っていました。

どうやったら「復興」できるだろう。これからの日本はどうやったら良くなっていけるのか。色々な方のお話を伺い、対話の中で思いを深め、考えてみたいと思い、この「インタビュー・コーナー」の企画を出しました。愛知県に避難してきた私たち。離れた故郷への思いも、移り住んだ愛知県への眼差しも、とても強い。これからの日本を思う気持ちも深い。そう思います。

対話の中から、何か方向性が見えたら、との願いをこめて、このインタビュー・コーナーを始めます。

インタビュー 第1回

橋をかける人 ～ 小松恵利子さん (43 歳)

福島県いわき市から、3人の子ども(中1、高1、高3)のうち下の子ども2人と愛知に母子避難されています。

2012年3月に、食育講座と、フランス料理の有名シェフ三國さんのプレゼント・ランチをいわき市の小学校に届ける、「子どもたちに笑顔」プロジェクトをかわきりに、8月には、福島と愛知のテニスクラブジュニアの交流試合と、福島県の子どもを含む家族を岡崎市に招く保養プロジェクト「おいでんプロジェクト」を手掛けられました。「私は何もやっていないの」と微笑みながら、次々素敵な企画を実現させていく、不思議なパワーの「ママさん」です。お話を伺っていて、「橋渡し」という言葉が何度も出てきました。

3.11以降、被災しなかった地域に広がった、「被災地のために何かしたい」「何をどうしたらいいのかわからない」というもどかしい思い。あまりにも甚大な天災に加え、放射能汚染という目に見えない不安を抱えた被災地。

被災しなかった地域にも、被災した地域にも、どちらの側にもモヤモヤとしたデリケートな複雑さと、その奥に秘められた切実な熱い思いが

あります。支援できること支援されたいことの橋渡しができれば、双方にとって幸せな心温まる時間が生まれます。

三国シェフを始め全国から集まったフレンチシェフ達は、日頃豪華なフランス料理を提供するのが仕事。同じ日本に、避難所で冷たいおにぎりを分け合っている被災者がいることへの、割り切れない思いに苦しむ面もありました。でも、プレゼント・ランチで子ども達の笑顔を見て、気持ちが救われる面もあったそうです。

子ども中心に生きてきたと言われる小松さん。子育てを極める中で自然に社会の窓が開き、子どもが手を離れていくにつれ、社会との関わりが深まっていったようです。

子どもが通学したクラスの問題がきっかけで、立ち上げられた読み聞かせボランティア。母子で愛知に移住した今も、福島で続けられているそうです。

福島と愛知をつなぐ目に見えない橋をかけることは、被災地から避難した立場だからこそ、丁寧に子育てをしてきた小松さんだからこそできること。復興の礎となる絆づくりに重要な役目を果たしていらっしゃると思いました。

(あおぞら 編集委員 吉田 育子)

転出先のご連絡を！

愛知県被災者支援センターでは、転出された方にお手紙を差し上げています。

そこで、愛知県に避難されている方で転出が決まった方は、下記情報を当センターまで電話、ファックスまたはメールにてご連絡ください。

【連絡して頂きたい情報】

- ・ 転出先住所及び郵便番号
- ・ 転出日
- ・ お名前

【連絡先】：愛知県被災者支援センター

TEL : 052-954-6722

FAX : 052-954-6993

E-mail : mousikomi@aichi-shien.net

あおぞら・情報掲示板

先月（8月25日便）の、あおぞら 第24号でご案内した情報掲示板への情報提供、ありがとうございました。おかげでたくさんの情報が集まりました。

また次号以降も掲載していきますので、どしどし情報をお寄せください。

/// 愛知健康の森公園 ///

遊び場

- 所在地：大府市森岡町源吾1
- TEL：0562-47-9222
- アクセス：車が便利です。または、大府駅から知呂バスで「愛知健康の森公園」下車。
- 駐車場：無料（7:30～21:00）
- 広大な公園で、スポーツ施設、宿泊棟、子どもの森、など施設が充実。週末は家族連れで混みあいます。季節の花々も美しいです。駐車場は実際には6時からしか開けてくれているので、開花したての花を楽しみながら、早朝のお散歩に訪れる方もいます。隣（敷地が広いので徒歩ではキツイです）に、げんきの郷、という産直市や温泉などもあります。

/// 名古屋港海づり公園 ///

遊び場

- 所在地：愛知県知多市南浜町7番
- TEL：0562-56-3013（公園管理事務所）
- 駐車場：1日 500円
- 利用料金：無料
- 24時間365日開園
- バリアフリー、照明設備もあり夜釣りも安全に利用できる。
- ジュース・軽食の自販機あり
クーラー完備の休憩所や遊具広場もあり、子連れでもじゃうぶ楽しめる所です。
トイレもきれいに管理されており、気持ちよく利用できました。

/// 日曜大工仕事やります！ ///

はんり

- 柵作り、ベンチ、机や椅子、その他
- 材料費：実費
- 交通費：実費
- 手間賃：500円/時間
- 問合せ・注文：佐藤 宏蔵（南相馬市出身）
- 住所：小牧市大字北外山 2735-2
県営住宅 18棟 205号室
- TEL：090-2888-4142

/// とよた子育て総合センター「あいあい」 ///

遊び場

- 所在地：豊田市若宮町 1-57-1 A館 T-FACE 9階
（松坂屋上階）
名鉄三河線豊田市駅、愛環鉄道新豊田駅下車すぐ
- TEL：0565-37-7071
- 駐車場：第一、第二、若宮、TM若宮、新豊田駅地下、VITS、昭和町の各駐車場 利用（3時間無料）
- 開館時間：10:00～18:00
- 休館日：火曜日、年末年始
- 駅からすぐのデパートの上階という好立地。冷暖房完備。0-2歳児の遊び場「すくすく」、3-小学生の遊び場「わくわく」、子ども工作室（無料）もあり、連日沢山の親子が訪れています。おススメ！

/// 農家れすとらん「葉菜の舎」 ///

お食事

- 所在地：碧南市川口町6丁目70
- 値段：ランチ→大人（中学生以上）1680円、シルバー（70歳以上）1470円、子ども（小学生）840円、幼児（4歳以上）420円、幼児（3歳）315円
ディナー→大人 2625円、シルバー 2100円、子ども 1050円、幼児（4歳以上）525円、幼児（3歳）315円
- 営業時間：年中無休 11時～3時30分
土曜日のみディナー・タイムの営業があります。
- 電話：0566-41-8544
- アクセス：車のみ。あおいパークという産直市に近い、農村部にあります。黄緑色の旗が目印。半田方面から衣浦海底トンネルを使った場合は、片道分のサービスチケットがもらえます。
- 地産地消の自然食ビュッフェ。野菜料理がメインです。野菜自体の味が濃く、とても美味しいです。手作りハム・ソーセージ工房が隣にあり、ドイツ仕込の製法の、地元の豚肉100%の美味しいウインナーが、ビュッフェの中にも必ずあります。価格がやや高めですが、デザートまでたっぷり、満足度が高いです。中高年を中心に、リピーターの多い、人気店です。
- ※ 幸田店もあります（0564-63-0884）

※ これらは、さまざまな方々から寄せられた情報を元に掲載しています。掲載された情報元にご確認のうえ、皆様の判断でご利用ください。

あおぞら・情報掲示板

食品

/// コープあいち ///

食の安全・安心を第一にしてコープの宅配、店舗、福祉、共済、住まい、生活サービスなど暮らしを支える様々な事業を展開しています。昨年9月より検査センターでは、微生物や農薬などの検査に加え放射性物質の測定を開始、日常にお届け、販売している商品の点検をすすめ、より安心して生協の商品をご利用頂けるよう進めています。

住所：〒465-8611

名古屋市名東区猪高町大字上社字井堀 25-1

TEL：コープベル 0120-758-257

コープの宅配：愛知県全域 17の配送センター

コープのお店：名古屋市、春日井市、犬山市、岩倉市、日進市、豊明市、豊川市、豊橋市、岡崎市、安城市などに19店舗

食品

/// にんじん CLUB ///

東海地域の生産者さんのお米や野菜、果物を中心に扱い、名古屋市とその周辺のお客様に宅配をしています。関東地域の野菜があるときは放射能検査を実施した野菜を取り扱います。小牧市内や緑区にあるオーガニックレストランでは週末に青空市や試食会など開催。実際に食べて納得できる機会です。また公にしています。ご近所さんでしたら覗いてみてください。

住所：小牧市中央 2-246

TEL：0568-72-8500(月～金 9:30～17:30)

食品

/// 名古屋生活クラブ ///

約40年前に共同購入会から始まった安全な食品(無農薬野菜など)の宅配会社。長年原発の反対運動を行う中で関係を築いた生産者多数。食品放射能測定は「精密な全品検査」は不可能なため、作物の汚染傾向を調査し重点的に測定。市民団体と放射能測定室を立ち上げ弊社に測定器を設置。放射能測定は市民の方も可能

配達地域：愛知・岐阜一部地域

住所：名古屋市西区比良 2-1200

TEL：0120-72-0251

食品

/// あいち生活協同組合 ///

○安全・安心を第一に20年 ○農産物は最低でも農薬半減の品質で、全て生産者と会える産直 ○全て化学調味料不使用で、添加物は最低限 ○カタログに全原材料表記

○放射能の測定と安全の確認は、抜き取り簡易検査で、高めれば精密検査を独自に実施

配達：名古屋市中心の尾張全域・東三河 個人宅配

住所：名古屋市南区葉師通 1-14

TEL：0120-68-2020

(WEB <アイチョイス 検索> で簡単アクセス)

健康

/// NPO 法人 タイ・ヒーリング ジャパン ///

当法人は「家族や身近な人たちを癒し、自分自身も癒されたい」という声から生まれた触れ合いと癒しの知恵と技「タイ・ヒーリング」をお伝えしています。東日本大震災以降は宮城県・福島県内や愛知県・岐阜県内に避難している被災者にボランティアマッサージ等を行って来ました。主な活動内容は

1. タイ・ヒーリングを教える。
2. タイ・ヒーリングの施術をする。
3. タイ・ヒーリングでボランティア活動をする。

住所：愛知県名古屋市名東区上社 2-6-305

年中無休(出張で留守あり)

TEL：052-739-6816

E-mail：info@thai-healing.jp

http://www.thai-healing.jp/

※ これらは、さまざまな方々から寄せられた情報を元に掲載しています。掲載された情報元にご確認のうえ、皆様の判断でご利用ください。

◆ 応募方法

◎ メールまたはFAXにて

E-mail：aозora@aichi-shien.net FAX：052-954-6993

◎ 文字数：1情報につき200字以内

◎ 氏名・現住所・電話番号を明記してください。

(実名・匿名・ペンネームなど、掲載の表記希望をお知らせください)

※ 掲載時、こちらで編集したり、内容によっては掲載不可となる場合もあります。その他、相談させていただく場合があることを、ご承知おきください。

◆ 皆様からの情報をお待ちしています。